

厚生年金基金資産運用業務報告書  
(2019(令和元)年度)

厚生労働省年金局企業年金・個人年金課  
2020(令和2)年12月

# 厚生年金基金資産運用業務報告書について

## 【概要】

厚生年金基金は、毎事業年度、年金給付等積立金の管理運用業務についての報告書を作成し、翌事業年度9月末日までに、厚生労働大臣に提出しなければならないとされている。  
(厚生年金基金規則※ (昭和41年厚生省令第34号) 第56条第2項)

※公的年金制度の健全性及び信頼性の確保のための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等及び経過措置に関する省令(平成26年厚生労働省令第20号)第17条第1項の規定によりなおその効力を有するものとされた同令第1条の規定による廃止前の厚生年金基金規則(昭和41年厚生省令第34号)

## 【対象基金数】

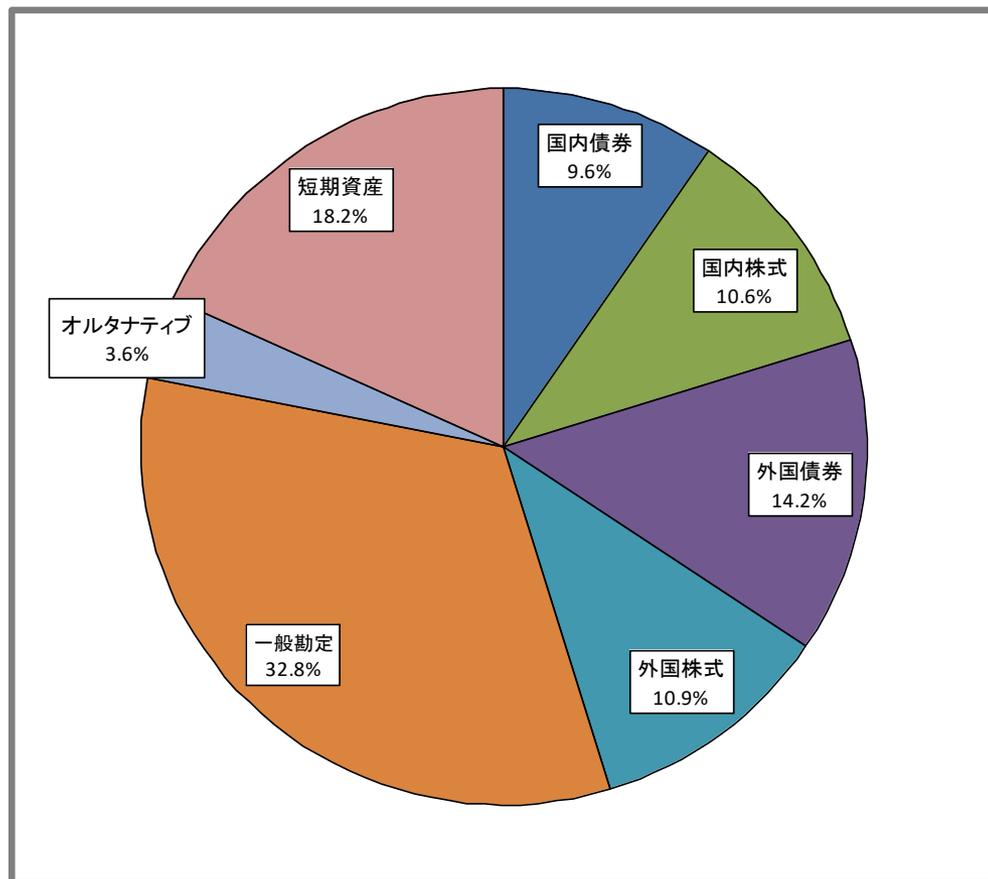
8基金 (2020 (令和元) 年3月末現在)

## 厚生年金基金の運用資産別残高及び資産構成割合(2020(令和2)年3月末)

2020(令和2)年3月末における厚生年金基金の運用資産残高総額は、2兆1,123億円(昨年度末と比べ0.1兆円の減)となりました。また、資産構成割合は、国内債券9.6%、国内株式10.6%、外国債券14.2%、外国株式10.9%、一般勘定32.8%、オルタナティブ3.6%、短期資産18.2%となっています。

【図表1】

	時価総額(億円)	構成割合(%)
国内債券	2,018	9.6
新株予約権付社債	—	0.0
国内株式	2,249	10.6
外国債券	2,998	14.2
外国株式	2,299	10.9
一般勘定	6,937	32.8
オルタナティブ	770	3.6
短期資産	3,852	18.2
合計	21,123	100.0



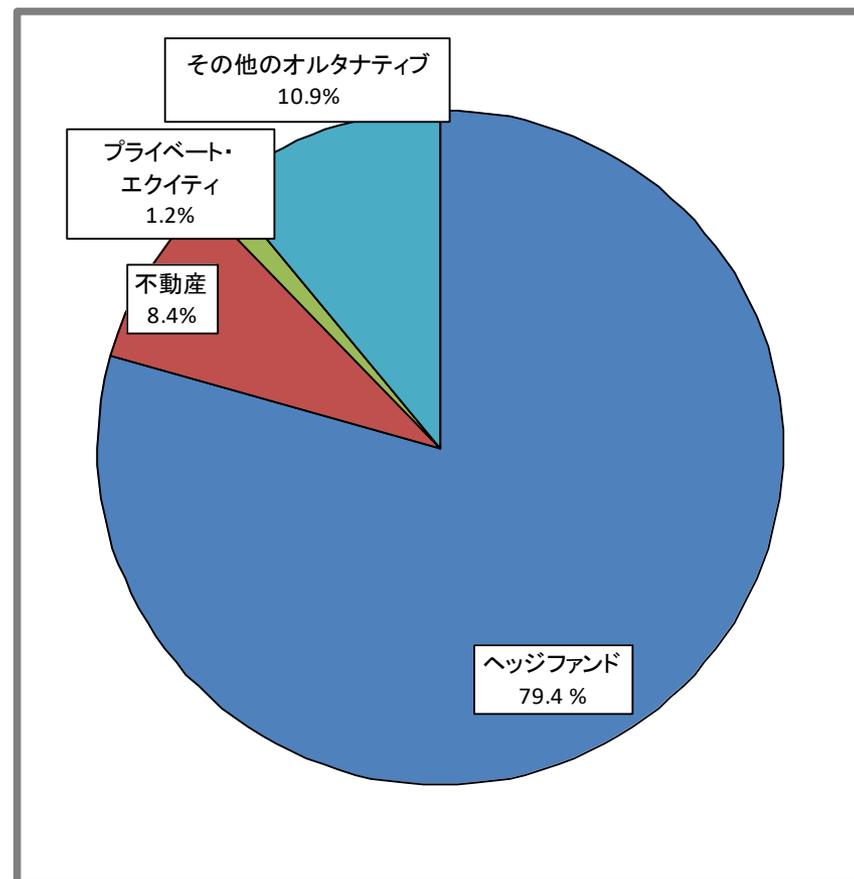
※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

## 厚生年金基金のオルタナティブ投資の割合(2020(令和2)年3月末)

2020(令和2)年3月末における厚生年金基金のオルタナティブ投資の資産残高は、約8百億円となりました。そのうちの79%程度がヘッジファンドへの投資となっています。

【図表2】

	時価総額(億円)	構成割合(%)
ヘッジファンド	611	79.4
不動産	65	8.4
プライベート・エクイティ	9	1.2
コモディティ(商品)	—	0.0
その他のオルタナティブ	84	10.9
計	770	100.0



(注) その他のオルタナティブとは、ハイイールド債、CLO、CDO、インフラストラクチャー、保険リンク証券、マネージドフューチャーズ、その他が含まれる。

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

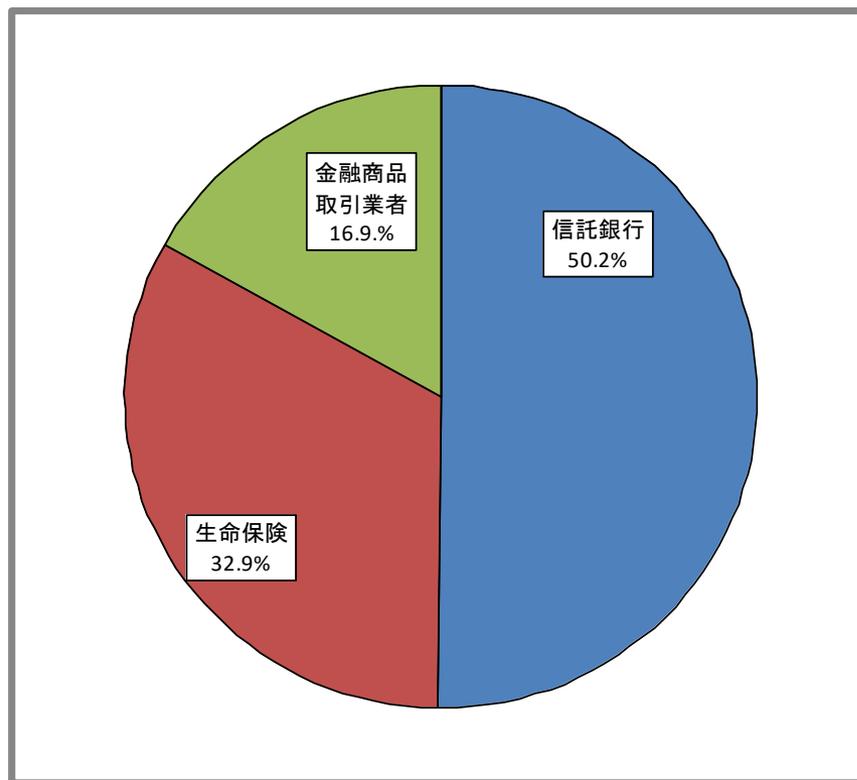
## 厚生年金基金の運用機関別資産残高及び構成割合(2020(令和2)年3月末)

2020(令和2)年3月末における厚生年金基金の運用機関別資産残高は、信託銀行が約1.1兆円、生命保険が約0.7兆円、金融商品取引業者が約0.4兆円となりました。

【図表3】

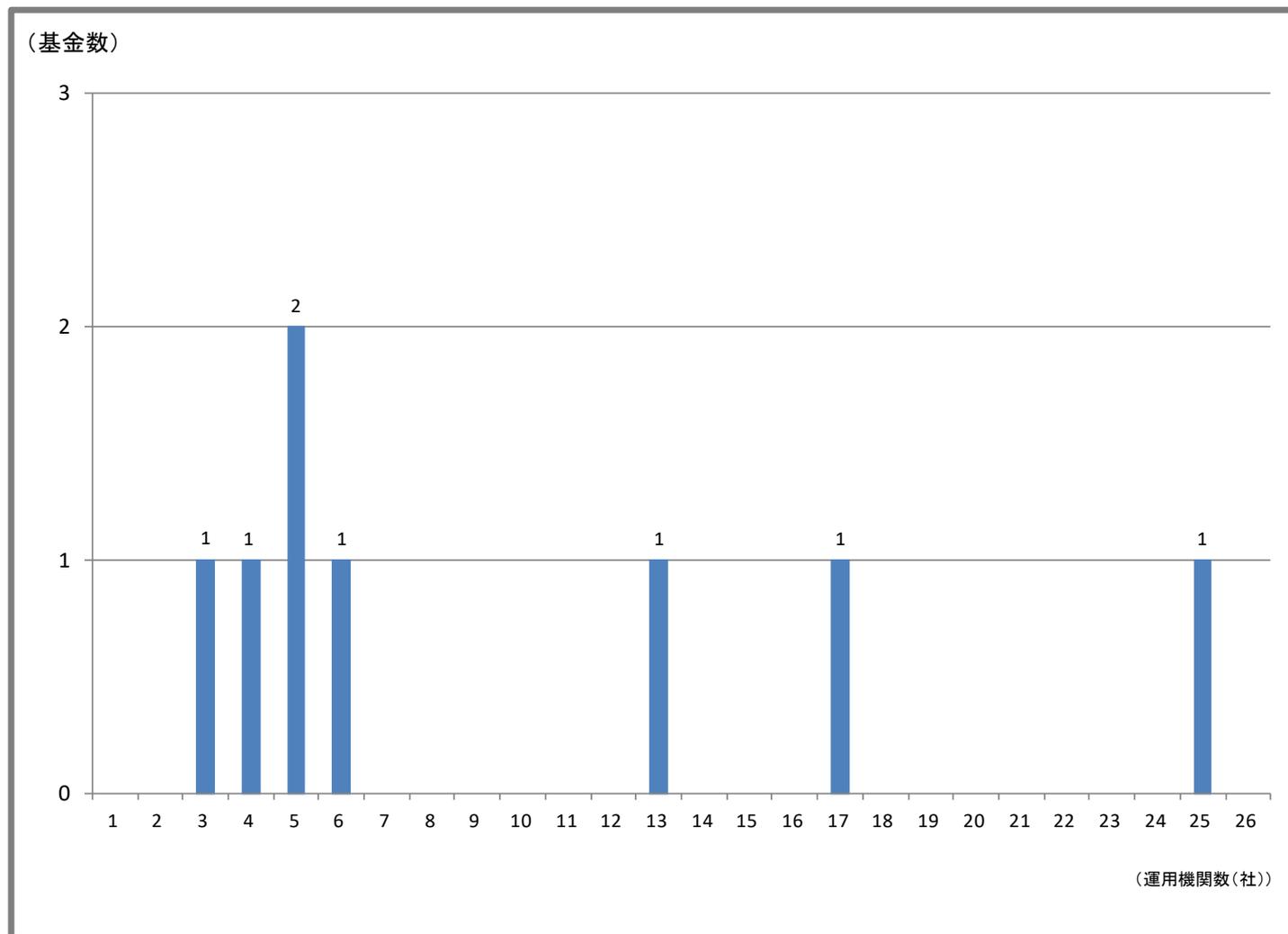
	時価総額(億円)	構成割合(%)
信託銀行	10,603	50.2
生命保険	6,958	32.9
(注) 金融商品 取引業者	3,561	16.9
自家運用	—	0.0
合計	21,123	100.0

(注) 投資運用業の登録を受けた投資一任業者である



# 各厚生年金基金が委託している運用機関数(2020(令和2)年3月末)

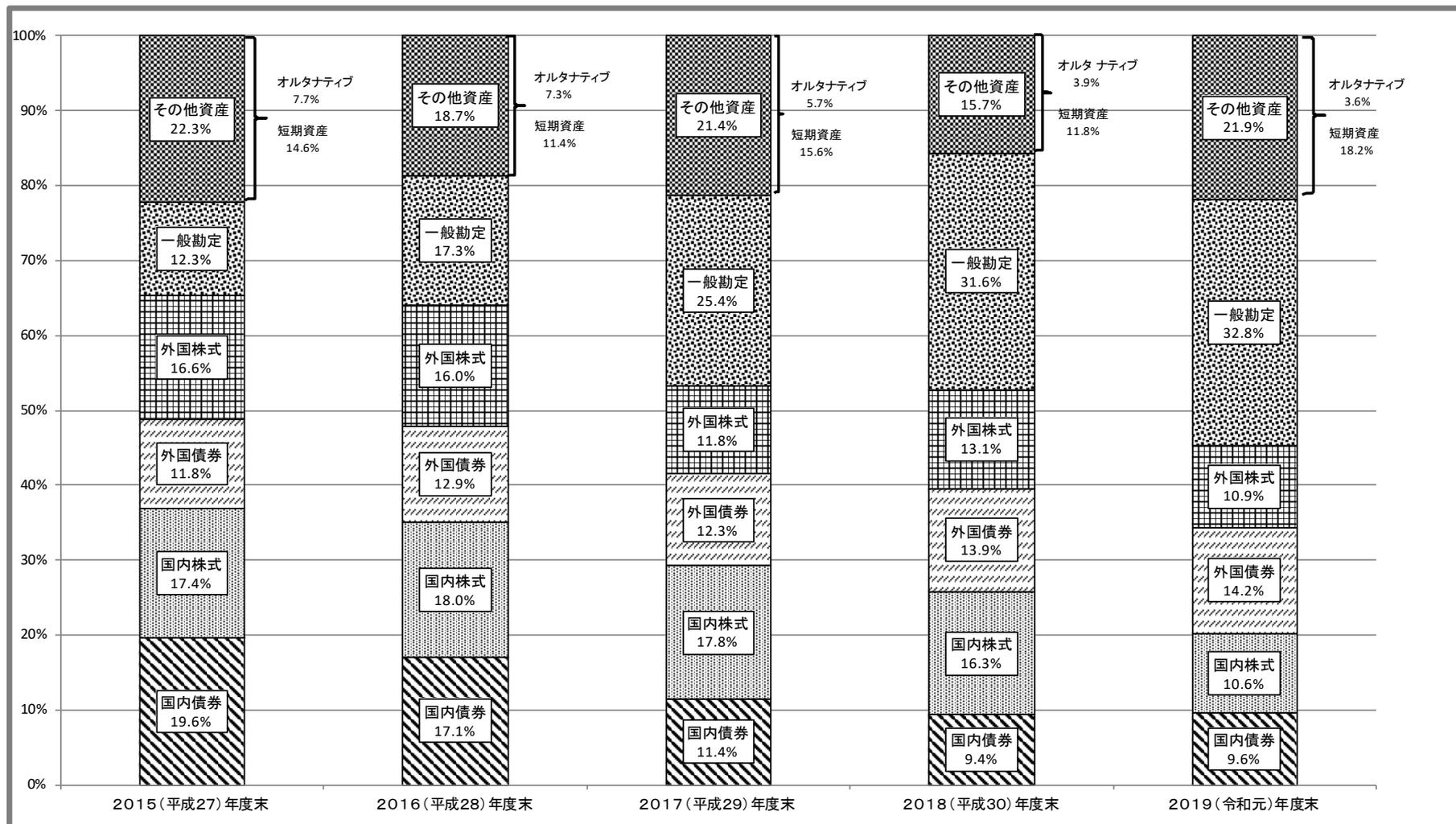
【図表4】



運用機関数(社)	基金数	割合
1		0.0%
2		0.0%
3	1	12.5%
4	1	12.5%
5	2	25.0%
6	1	12.5%
7		0.0%
8		0.0%
9		0.0%
10		0.0%
11		0.0%
12		0.0%
13	1	12.5%
14		0.0%
15		0.0%
16		0.0%
17	1	12.5%
18		0.0%
19		0.0%
20		0.0%
21		0.0%
22		0.0%
23		0.0%
24		0.0%
25	1	12.5%
26		0.0%
合計	8	100.0%

# 厚生年金基金の資産構成割合の推移(過去5年間)

【図表5】(グラフ)



(注) その他資産には、ヘッジファンド等のオルタナティブ投資が含まれる。

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

# 厚生年金基金の運用資産残高及び資産構成割合の推移(過去5年間)

【図表5】(表)

(単位: 億円、%)

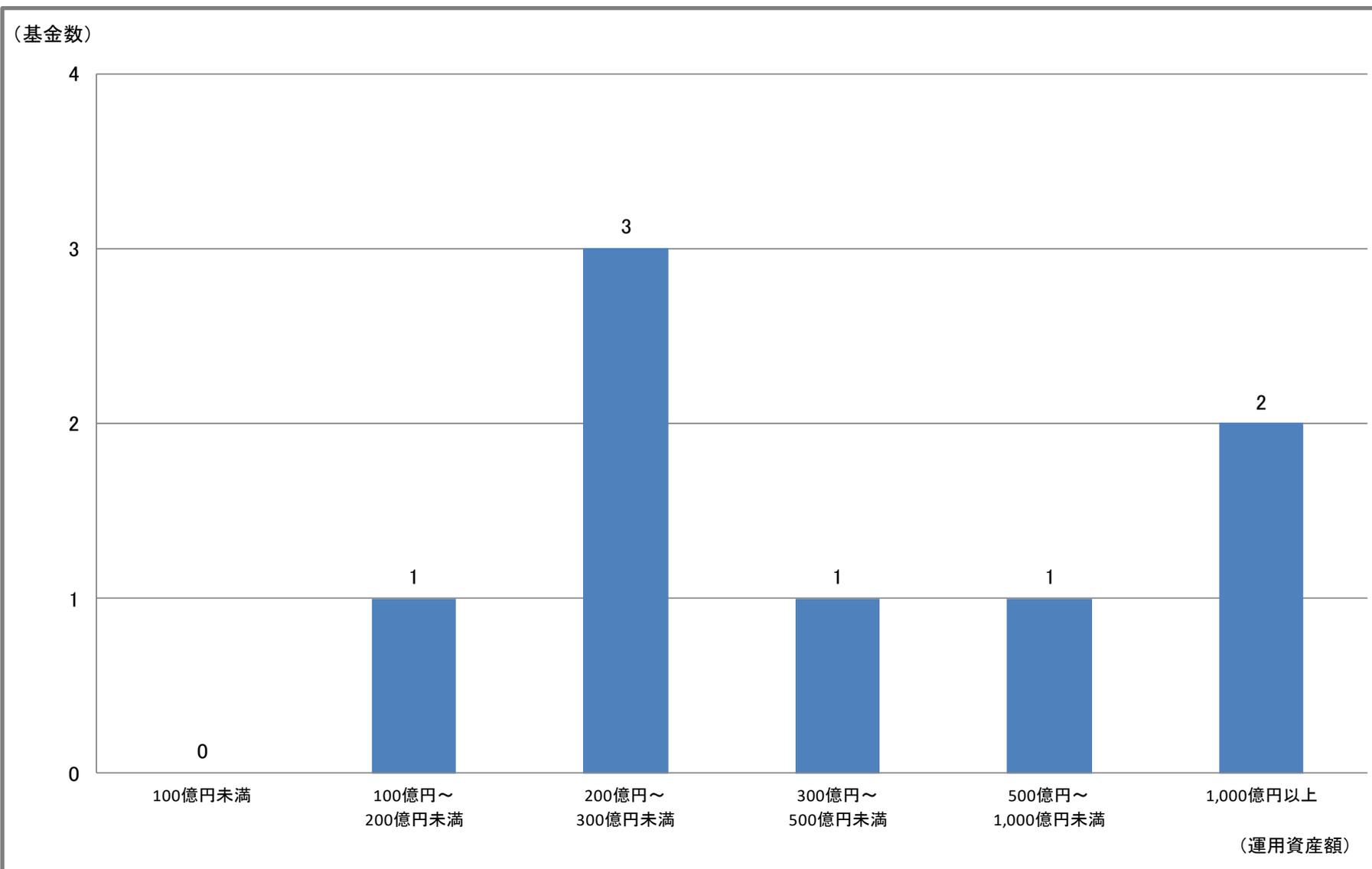
	2015(平成27)年度末			2016(平成28)年度末			2017(平成29)年度末			2018(平成30)年度末			2019(令和元)年度末		
	時価総額	資産構成割合	基金数	時価総額	資産構成割合	基金数	時価総額	資産構成割合	基金数	時価総額	資産構成割合	基金数	時価総額	資産構成割合	基金数
国内債券	19,832	19.6%	204	10,020	17.1%	96	4,097	11.4%	35	2,127	9.4%	10	2,018	9.6%	8
新株予約権付社債	4	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0
国内株式	17,561	17.4%	210	10,564	18.0%	94	6,361	17.8%	34	3,685	16.3%	10	2,249	10.6%	8
外国債券	11,935	11.8%	211	7,585	12.9%	91	4,387	12.3%	33	3,135	13.9%	10	2,998	14.2%	8
外国株式	16,800	16.6%	209	9,412	16.0%	93	4,217	11.8%	34	2,961	13.1%	10	2,299	10.9%	8
一般勘定	12,489	12.3%	140	10,167	17.3%	64	9,088	25.4%	24	7,150	31.6%	9	6,937	32.8%	6
(注) その他資産	オルタナティブ 7,823	7.7%	125	オルタナティブ 4,310	7.3%	56	オルタナティブ 2,055	5.7%	25	オルタナティブ 875	3.9%	9	オルタナティブ 770	3.6%	7
	短期資産 14,733	14.6%	250	短期資産 6,702	11.4%	109	短期資産 5,599	15.6%	35	短期資産 2,667	11.8%	10	短期資産 3,852	18.2%	8
資産合計	101,177	100.0%	256	58,759	100.0%	110	35,804	100.0%	36	22,599	100.0%	10	21,123	100.0%	8

(注) その他資産には、ヘッジファンド等のオルタナティブ投資が含まれる。

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

# 運用資産額規模別の厚生年金基金の分布(2020(令和2)年3月末)

【図表6】



# 各厚生年金基金の収益率(修正総合利回り/時間加重収益率)の分布(2020(令和2)年3月末)

【図表7】

(基金数)

